

地域おこし協力隊かわら版

協力隊インタビュー 伴 隊員



ラジオから流れる笑い声に、いつもつられて2人で笑っちゃう。



「先生、これどうですか？」 「いい塩梅だなあ！」



これイイ！たくさんの出会いがあり喜多方が好きになりました♪

伴 沙也加 隊員

(雄国根曲り竹細工保存会担当)

着任日：2020年8月1日着任

前住所：神奈川県横浜市から移住

活動内容：雄国の根まがり竹細工習得・PR



Instagram アカウント

@oguni.yori_

Q1 協力隊に赴任したきっかけは？

「福島に帰ろう」「帰るのであれば、福島県に関われる仕事をしたい」と漠然に思い、出会ったのは有楽町の回帰センター。そこで開催された相談会で、地域おこし協力隊の活動を紹介いただいたことがきっかけです。

Q2 協力隊としてどんな活動をしている？

雄国根曲り竹細工保存会に所属し、雄国の根まがり竹細工の技術習得をメインに活動してます。他、PR活動として出店販売の同行やInstagramでのSNS発信をしています。

Q3 協力隊活動のやりがいは？

作りたいモノが作れた時です！編みというより、その材料作りが出来るようになったこと。「編みは誰でもできる、大切なのは材料作り」と学び、常にその壁に当たってます。だから先生より「いい塩梅だ」という言葉をいただくと、とても嬉しいです！

Q4 雄国の根まがり竹細工のお勧めポイント、魅力は？

竹細工の魅力は、使い方同様に人それぞれだと思うんですが、私は「先生が作っている」ことですね！
先生方は私の推し(笑)
推しの作品だから使いたいし、販売も頑張れます♪
私は作り手、想い、、、とか感情が動かされたから購入したいんですよね、きっと。

Q5 今後、どのような活動をしていきたいですか？

これまでの活動の中で、竹細工に合う柿渋染めバッグや、市内の縫製職人と会津木綿の内袋を企画制作し販売しました。今後はおぜしかプロジェクトの鹿革や、他ジャンルの職人らとのコラボにも挑戦し、販売会をしたいです♪

Q6 市民の皆さんへPR!!

いつも温かく受け入れてくださりありがとうございます。
この作務衣は、雄国の大好きなあねさまにいただいた宝物。
福島の職人、たくさんのいいモノとも出会いました。
食や場所、たくさんの素敵で溢れている会津。ぜひ皆様のおすすめも教えてください♪
また出店イベントで皆様とお会いできることを楽しみにしています。

発行：地域振興課

(0241-24-5306)

制作：NPO 法人かけはし

地域おこし協力隊活動中

熱塩加納町担当から

熱塩加納未来会議「村の観察会」は小さい子や山歩きが苦手な方にも好評の楽しいプチガイド付き農村の宝さがし。鳥パンフレット！



会津喜多方漆器商工協同組合担当から

『ぐい呑みくじ』を開発中。「漆器にふれる機会が少ない若い世代に、酒処と呼ばれる喜多方の漆器をぜひ試してほしい！」という想いから、限定 400 個／全 8 種類の酒器を制作しています。会津産の木材を使用し、赤黒緑などの摺り漆仕上げの他、青や黄色の塗り仕上げがあり、おみくじ形式で今年 8 月に販売予定です。会津木綿の巾着袋に包装されているので、10/1 の乾杯条例に合わせて持ち運びも◎ 販売価格や販売店舗は 7 月に Instagram にてお知らせします。

instagram アカウント @aizukitakataokoshi



小田付伝統的建造物群保存地区担当から

●今年も開催！おたづき蔵マルシェ

昨年秋に開催し、好評を博したおたづき蔵マルシェ。今年は夏も開催します！題して、「おたづき蔵マルシェ なつやすみ！」。開催予定日は 7 月 24 日。おたづき蔵通りにある南町 2850 を拠点に、喜多方の衣・食・住を楽しみながら体感できるマルシェになるよう誠意準備中です。当日は是非浴衣でお越しください！風情ある重伝建の町並みを、浴衣でより一層楽しみましょう。



雄国根曲り竹細工保存会担当から

雄国の根まがり竹細工担当の伴です。5月3日～4日に飯館村で開催された『山の向こうから vol.4』に、初出店しました！イベントにあわせ、地域おこし協力隊 OB の武藤忍さんに雄国根曲り竹細工保存会と自身の名刺を制作いただき、より多くのお客様に雄国の根まがり竹細工を知っていただけました。



文化芸術創造都市推進担当から

今年も活動がんばります！

詳細はInstagramやチラシ、市広報でお知らせしていきます。

①子どもたちの探究学び塾

創造的な考え方「デザイン思考」を活用し、物事を自分で考えていく学び（6 回ほどのワークショップで構成）を実施します。

②協力隊とつくる事業への資金など様々な支援

みなさんの提案に対して 10 万円を上限とした資金的な支援と私が一緒になって、提案事業の実現を目指します。

③中学校の文化系部活動支援

中学の文芸部を対象に、教育効果の高いプログラムを実証的に開発していきます。

④おでかけオフィス（小田付滞在）

南町に週 1～2 回ほど私が滞在します。お手軽にお寄りください。



有害鳥獣被害対策担当から

有害鳥獣被害対策の Instagram を開設しました！

活動内容の配信にとどまらず、草木や昆虫、花など、山歩きでの発見を皆様と共有できればと思っています。ぜひフォローください！



【Instagram アカウント】
@kitakataokoshi_chouju



協力隊新隊員紹介

大室 拓也

隊員 有害鳥獣被害対策担当

令和 4 年 4 月 1 日 着任

初めまして。令和 4 年 4 月から、有害鳥獣被害対策担当の地域おこし協力隊に着任しました、大室拓也と申します。生まれは広島県世羅町（高校駅伝の名門校がある田舎です）で、4 年間宮崎県で働いておりましたが、雪国の暮らしに憧れ喜多方市へ移住しました。

協力隊としてのミッションは鳥獣被害対策によって発生した資源（伐採した果樹など）をうまく利活用して、商品やイベントを企画することです。近年イノシシやサル、シカによる農作物被害が増加しており、様々な対策が講じられていますが、資源利活用により、少しでも楽しく被害対策ができればと考えております。

活動の第一歩は、生き物や草花を知ること。山歩きをしていると、身の回りには自分の知らない生き物や草木で満ちていることに気づきます。これから狩猟や、農業もどんどん勉強して、将来的には里山の住民として自然の維持管理に携わりたいと思っています。

皆様、どうかよろしくお願いいたします。

